

## 福井工業高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規則

(趣旨)

第1条 福井工業高等専門学校（以下「本校」という。）学則第36条第2項及び第39条の規定に基づき、本校専攻科（以下「専攻科」という。）の授業科目の履修方法及び成績の評価並びに修了の認定に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(授業)

第2条 1単位時間は、50分を標準とする。

2 授業は、講義、演習、実験及び特別研究のいずれか、又はこれらの併用により行うものとする。

3 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の各号の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実験及び特別研究については、45時間の授業をもって1単位とする。

(履修方法)

第3条 専攻科の学生は、開設する授業科目のうち、選択科目の履修に当たっては、年度当初に、別紙第1号様式による選択科目受講届を所定の期日までに校長に提出しなければならない。

(定期試験)

第4条 定期試験は、各学期末に実施する。なお、課題等提出物、口頭発表等によって評価し得る科目については、試験を行わないことがある。

2 定期試験に際し、不正行為を行った者の当該試験期間の全科目の成績は、0点とする。

3 懲戒処分のため定期試験を受けることができなかった者の当該科目の試験の成績は、0点とする。

(追試験)

第5条 追試験は、病気その他やむを得ない事由により、定期試験を受験できなかった者のうち、別紙第2号様式による追試験願を所定の期日までに校長に提出し、その許可を受けた者について実施するものとする。

(成績の評価)

第6条 授業科目の成績評価は、シラバスに記載された評価方法によって行うものとする。成績の評価は、100点法による。ただし、特別研究Ⅰ、特別研究Ⅱ、インターンシップ及び海外インターンシップの評価は、合格又は不合格とする。

(成績の評定及び序列)

第7条 成績は、次の区分によって秀、優、良、可、不可と評定する。また、各評定区分

に対応したG P (Grade Point) を次表のように定める。

評定	秀	優	良	可	不可
評点	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点以下
G P	4	3	2	1	0

ただし、特別研究Ⅰ、特別研究Ⅱ、インターンシップ、海外インターンシップについて、G Pは定めない。

2 G P A (Grade Point Average) に、学期G P Aと累積G P Aを定め、次のように算出する。それぞれ小数第3位を四捨五入し小数第2位までを求める。ただし、G Pが定められていない科目は、算出から除く。

$$\text{学期G P A} = \frac{\text{(当該学期の合格科目のG P} \times \text{合格科目の単位数) の総和}}{\text{当該学期の成績評価された履修科目の総単位数}}$$

$$\text{累積G P A} = \frac{\text{(在学期間の合格科目のG P} \times \text{合格科目の単位数) の総和}}{\text{在学期間の履修科目の総単位数}}$$

不合格科目を再履修し、合格の評価であった場合及び再履修の結果再び不合格の評価であった場合、「在学期間の履修科目の総単位数」に、それぞれ再履修前の不合格科目に関しては算入しない。

3 学期で成績による序列が必要な場合は、学期G P Aの値が高い者を上位として序列をつける。学年で成績による序列が必要な場合は、累積G P Aの値の高い者を上位として序列をつける。

(不合格の基準)

第8条 成績評定が不可の科目及び欠課時数が年間授業総時数の15分の4を超える科目は、不合格とする。

(単位の認定)

第9条 第6条及び第7条の規定に基づき、秀、優、良、可又は合格に評価された授業科目については、当該単位数を修得したものと認めるものとする。

(再履修)

第10条 不合格科目は、別紙第3号様式による再履修願を校長に提出させ、次年度再履修させることができる。

(修了に必要な単位)

第11条 専攻科の修了に必要な単位数は、62単位とし、一般科目については5単位以上、専門共通科目については26単位以上、専門展開科目については31単位以上修得するものとする。

(他専攻の授業科目の履修)

第12条 他の専攻で開設されている選択科目の履修により修得した単位は、6単位を限度として、当該専攻における単位として認定することができる。

(その他)

第13条 この規則の実施に必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成26年7月18日から施行し、平成26年4月1日から適用する。
- 2 この規則の施行の際、平成25年度以前の専攻科入学生に係る教育課程は、この規則による改正後の福井工業高等専門学校学則別表第5及び別表第6の規定にかかわらず、なお、従前の例によるものとする。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の際、現に在学する者にかかる成績評定は、第1学年に遡及し適用する。

附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和元年5月29日から施行し、令和元年5月1日から適用する。

## 別表第4(第36条第1項関係)

## 一般科目及び専門共通科目

各専攻共通(平成31年度 第1学年)

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考	
			1年	2年		
一般科目	必修	現代英語	2	2		
		技術者英語コミュニケーション演習	1		1	
	選択	生命進化論	2		2	
		人間と社会	2	2		
	一般科目開設単位数計		7	4	3	
	一般科目修得単位数		5以上			
専門共通科目	必修	技術者総合ゼミナール	2		2	
		技術者倫理	2	2		
		創造デザイン演習	2	2		
		デザイン工学	2	2		
		先端材料工学	2		2	
		環境工学	2	2		
		地球環境	2		2	
	選択必修	インターンシップ	2	2		インターンシップは原則研修日20日以上 2単位以上修得のこと
		海外インターンシップ	2	2		
		ものづくり情報工学	2		2	2単位以上修得のこと
		画像情報処理	2		2	
		連続体力学	2		2	4単位以上修得のこと
		量子力学	2		2	
		地球物理	2		2	
		現代数学論	2	2		2単位以上修得のこと
		工業数理	2		2	
		物質科学	2	2		2単位以上修得のこと
		生物学	2		2	
		専門共通科目開設単位数計		36	16	20
専門共通科目修得単位数		26以上				

## 各専攻共通(平成31年度 第2学年)

区分	授 業 科 目	単位数	学年別配当		備 考	
			1年	2年		
一般科目	必修	現代英語	2	2		
		技術者英語コミュニケーション演習	1		1	
	選択	生命進化論	2	2		
		西欧福祉史論	2		2	
	一般科目開設単位数計		7	4	3	
	一般科目修得単位数		5以上			
専門共通科目	必修	技術者総合ゼミナール	2		2	
		技術者倫理	2	2		
		創造デザイン演習	2	2		
		デザイン工学	2	2		
		先端材料工学	2		2	
		環境工学	2	2		
		地球環境	2		2	
	インターンシップ	2	2		インターンシップは原則研修日20日以上	
	選択必修	ものづくり情報工学	2		2	2単位以上修得のこと
		画像情報処理	2		2	
		連続体力学	2		2	4単位以上修得のこと
		量子力学	2		2	
		地球物理	2		2	
		現代数学論	2	2		2単位以上修得のこと
		工業数理	2		2	
		物質科学	2	2		2単位以上修得のこと
		生物学	2		2	
		専門共通科目開設単位数計		34	14	20
		専門共通科目修得単位数		26以上		

別表第5(第36条第1項関係)

専 門 展 開 科 目

生産システム工学専攻(平成31年度 第1学年)

区分	授 業 科 目	単位数	学年別配当		備 考	
			1年	2年		
専 門 展 開 科 目	必 修	生産システム工学実験Ⅰ	2	2		
		生産システム工学実験Ⅱ	2	2		
		生産システム工学演習Ⅰ	1	1		
		生産システム工学演習Ⅱ	2	2		
		生産システム工学特別研究Ⅰ	6	6		
		生産システム工学特別研究Ⅱ	6		6	
		必 修 科 目 開 設 単 位 数 計	19	13	6	
	選 択	設計生産工学	2		2	
		生産材料工学	2	2		
		エネルギー変換工学	2	2		
		人間-機械システム	2		2	
		計測・制御工学	2	2		
		電子物性工学	2	2		
		システムプログラム	2		2	
		光学基礎	2		2	
		量子エネルギー工学	2		2	
		情報通信システム	2		2	
		計算機システム	2	2		
		オブジェクト指向プログラミング	2		2	
		選 択 科 目 開 設 単 位 数 計	24	10	14	
選 択 科 目 修 得 単 位 数	12 以上					
専 門 展 開 科 目 開 設 単 位 数 計	43	23	20			
専 門 展 開 科 目 修 得 単 位 数	31 以上					

生産システム工学専攻(平成31年度 第2学年)

区分	授 業 科 目	単位数	学年別配当		備 考
			1年	2年	
必修	生産システム工学実験Ⅰ	2	2		
	生産システム工学実験Ⅱ	2	2		
	生産システム工学演習Ⅰ	1	1		
	生産システム工学演習Ⅱ	2	2		
	生産システム工学特別研究Ⅰ	6	6		
	生産システム工学特別研究Ⅱ	6		6	
	必修科目開設単位数計	19	13	6	
専門展開科目 選 択	設計生産工学	2		2	
	生産材料工学	2	2		
	エネルギー変換工学	2	2		
	人間-機械システム	2		2	
	計測・制御工学	2	2		
	電子物性工学	2	2		
	システムプログラム	2		2	
	光学基礎	2		2	
	電子機器工学	2		2	
	情報通信システム	2		2	
	計算機システム	2	2		
	オブジェクト指向プログラミング	2		2	
	選択科目開設単位数計	24	10	14	
	選択科目修得単位数	12以上			
専門展開科目開設単位数計	43	23	20		
専門展開科目修得単位数	31以上				

環境システム工学専攻(平成31年度 第1学年)

区分	授 業 科 目	単位数	学年別配当		備 考
			1年	2年	
必修	環境システム工学実験Ⅰ	2	2		
	環境システム工学実験Ⅱ	2	2		
	環境システム工学演習Ⅰ	1	1		
	環境システム工学演習Ⅱ	2	2		
	環境システム工学特別研究Ⅰ	6	6		
	環境システム工学特別研究Ⅱ	6		6	
	必修科目開設単位数計	19	13	6	
専門展開科目 選 択	有機反応化学	2		2	
	生物化学工学	2	2		
	環境分析化学	2		2	
	機能材料化学	2		2	
	動的構造デザイン	2	2		
	化学プロセス工学	2	2		
	応用微生物工学	2		2	
	環境水工学	2		2	
	建設構造・材料学	2	2		
	環境都市システム工学	2		2	
	都市防災システム	2	2		
	上下水道工学	2		2	
	選択科目開設単位数計	24	10	14	
	選択科目修得単位数		12以上		
	専門展開科目開設単位数計	43	23	20	
専門展開科目修得単位数		31以上			



環境システム工学専攻(平成31年度 第2学年)

区分	授 業 科 目	単位数	学年別配当		備 考
			1年	2年	
必修	環境システム工学実験Ⅰ	2	2		
	環境システム工学実験Ⅱ	2	2		
	環境システム工学演習Ⅰ	1	1		
	環境システム工学演習Ⅱ	2	2		
	環境システム工学特別研究Ⅰ	6	6		
	環境システム工学特別研究Ⅱ	6		6	
	必修科目開設単位数計	19	13	6	
専門展開科目 選 択	有機反応化学	2		2	
	生物化学工学	2	2		
	触媒化学	2		2	
	材料化学	2		2	
	動的構造デザイン	2	2		
	化学プロセス工学	2	2		
	応用微生物工学	2		2	
	環境水工学	2		2	
	建設構造・材料学	2	2		
	環境都市システム工学	2		2	
	都市防災システム	2	2		
	上下水道工学	2		2	
	選択科目開設単位数計	24	10	14	
	選択科目修得単位数		12以上		
	専門展開科目開設単位数計	43	23	20	
専門展開科目修得単位数		31以上			